

3. 3 小学校5・6年生（1） 指導の概略

I. 地震・津波を知る D. 津波の様々な特徴を理解する

指導する学年	小学校5年生	指導する時間	特別活動 (学級活動)	指導する時数	1時間
目 標	地震や津波のおこり方を知り、遠くで地震が発生した場合にも津波がやってくること(遠地津波)について理解を深める。				
使用する資料	【動画-06】津波が起きるメカニズム 【動画-12】1960年チリ地震津波Sim 【写真-01～04】過去の津波による釜石市の被害 【資料-02】地震分布とプレートの関係 【その他】地球儀 【print-31】遠地津波				

1. 導入

(1)過去の津波による被害写真を見て、津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。

【写真-01～04】過去の津波による釜石市の被害

(2)学習課題を把握する。

2. 展開

(1)津波が起こる原因を理解する。

【動画-06】地震・津波が起きるメカニズム [0:12]

(2)日本では、地震が多く発生していることを理解して、津波が起こりやすい状況であることに気付く。

【資料-02】地震分布とプレートの関係

(3)チリ地震を例に、どこで地震が起きても、津波が日本に来る場合があることを押さえる。

- ①チリ地震の発生場所を地球儀で捉える。
- ②チリ地震津波の発生から伝搬までの流れを動画で確認する。

【動画-12】1960年チリ地震津波Sim [0:36]

3. まとめ

(1)学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-31】遠地津波

(2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

4. 確認

(1)地震や津波のおこり方を知ることができたか？

(2)遠くで地震が発生した場合にも津波がやってくること(遠地津波)について知ることができたか？

※国語と関連させる場合:単元の始まる頃に行い、津波の特集を作ろうと展開させることができる。

※社会と関連させる場合:まとめの(1)の後に、地震と津波の対策として緊急地震速報等があることに触れる。
社会科では、どのように情報として伝わってくるか学習することができる。

関連する
教科・行事等

【小5国語】ニュース番組作りの現場から

【小5社会】くらしを支える情報

【行事】避難訓練

3. 3 小学校5・6年生（1） 指導の注意点

1. 導入

(1)過去の津波による被害写真を見て、津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。

→これだけの被害を起こした地震や津波はどのように発生するのかを確認する

2. 展開

(1)津波が起こる原因を理解する。

→動画を見て、復習する

(2)日本では、地震が多く発生していることを理解して、津波が起こりやすい状況であることに気付く。

→日本はプレートの境界にあるため、地震が頻繁に発生することをおさえる

(3)チリ地震を例に、どこで地震が起きても、津波が日本に来る場合があることを押さえる。

①チリ地震の発生場所を地球儀で捉える。

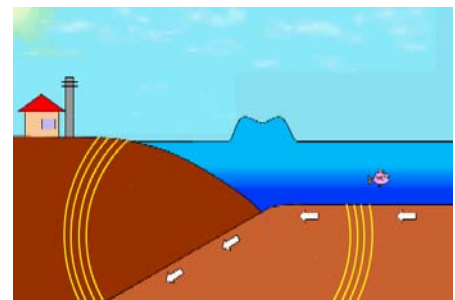
→地球儀を使って、チリは日本の裏側にあることをおさえる

②チリ地震津波の発生から伝搬までの流れを動画で確認する。

→地球の裏側から23時間かけて津波が日本に到達したことを確認し、遠くで大きな地震があった場合にも、津波に注意する必要があることをおさえる



【写真-03】1960年
チリ地震津波による釜石市の被害

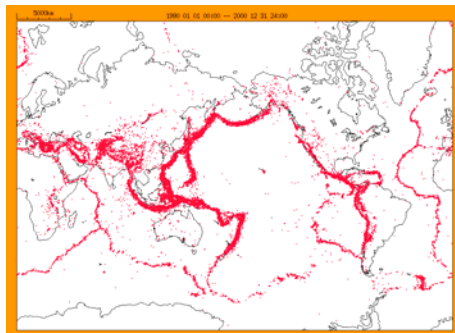


【動画-06】[0:12]
地震・津波が起きるメカニズム

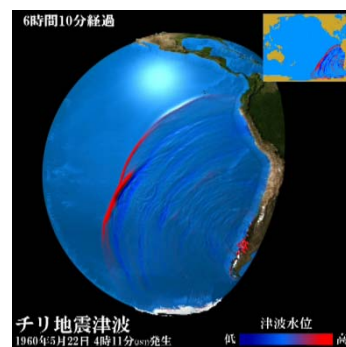
3. まとめ

(1)学習して気付いたことをプリントに記入する。

(2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。



【資料-02】
地震分布とプレートの関係



チリ地震津波
1960年5月22日 4時11分20秒発生
津波水位 低 高
【動画-12】[0:36]
1960年チリ地震津波Sim